

4. 川岸学園整備室

令和5年度に策定した「川岸学園構想」を推進するため、令和6年4月から教育委員会に設置した組織である。

(1) 事業目的

少子化が進む社会に適応した「魅力と活力ある学校づくり」を推進するため、「川岸学園構想」に基づき、川岸小学校の長寿命化大規模改修にあわせて、切れ目ない一貫した教育を提供する「施設一体型義務教育学校」への移行を図るとともに、岡谷市保育園整備計画中期計画に基づき、校地内に公立幼保連携型認定こども園を併設し、異年齢の子どもたちがつながる「新たな学び舎」の創出を図る。

(2) 事業内容

川岸小学校の大規模改修工事を実施するとともに、隣接する西部中学校と小中学校の施設間をつなぐ整備を行い、「施設一体型義務教育学校」への移行を目指す。また、敷地内に公立の幼保連携型認定こども園を整備することから、子ども課と連携を図りながら、幼児教育と義務教育がつながる異年齢交流の拠点づくりを進める。

○ハード面の整備

- ・川岸小学校の校舎の適正規模化による大規模改修工事
- ・校地内への幼保連携型認定こども園の新設
- ・施設一体型義務教育学校の開設に向けた接続施設及び交流空間の整備

○ソフト面の検討

- ・川岸学園設立準備委員会及び各部会の設置・運営
(校歌、校章、制服、教育方針、学校グランドデザイン、カリキュラム等の検討)
- ・義務教育学校への移行準備(開校手続き、条例、規則等の法整備など)

(3) 令和6年度重点施策

- ・川岸学園整備事業 基本設計・実施設計業務の実施
- ・川岸学園設立準備委員会及び各部会の設置・運営
- ・市民説明会の実施
- ・先進地視察の実施